

## 【全体評価】

評価項目	評価内容	配点
価格点	配点×(提案上限額×0.7)／見積額 ※ 最高点を200点とする。小数点一位で四捨五入	200
技術点	ドリルの機能及び提案書の内容並びにデモンストレーションを含むプレゼンテーションの評価	1,000
合計		1,200

## 技術点の内訳

評価対象	評価内容	評価項目	評価の視点（内容）	配点
機能要件	機能要件書兼回答書	回答書に基づく評価	機能要件の各項目の回答から、区分に応じた点数を割り当て集計	200
プレゼンテーション (提案書の内容、デモンストレーション)	デモンストレーションを中心としたドリルの説明	製品の実績	製品沿革、利用している学校数、人口35万人以上の自治体での利用実績 等	20
		基本性能面	ドリルの特色： コンセプト・設計思想、製品のストロングポイント 等	50
			レスポンスデザイン要素： 対応するブラウザの種類やOSの互換性、PC・タブレット等のデバイスへの対応状況	30
			システム性能： 多くの児童生徒が利用しても、システム全体がスムーズに動作し、ストレスなく操作できるか レスポンスタイム、正誤の判定速度、ピーク時アクセス対応 バッチ処理速度 等	40
			可用性（耐障害性）： 継続してドリルを提供できるシステム環境や組織体制を構築しているか 自然災害への対応や機器の冗長化等、故障時の対応等、サービスを止めない工夫	30
			ドリルの拡張性： 定期的なアップデートが行われ、新しい教育ニーズや技術革新に対応しているか 国の方針、学習指導要領への対応、AI、WEB技術や学習者用コンピュータ等の技術的進化への対応	40
		機能面	学習コンテンツの充実度： 収録している問題数、各教科や学年に対応した教材の充実度、特別支援教育や多言語対応等の多様なニーズへの対応の能力 等	60
			アダプティブラーニング機能： 児童生徒の学習進度に応じて問題の難易度を調整し、学習意欲を向上させる機能 等	60
			インタラクティブ要素： ゲーム的な要素やビジュアルコンテンツを通じて、児童生徒の興味を引きつける工夫 等	30
			問題の作成・編集機能： 教師が作成した問題等を追加、編集等が行えるユーザー機能の有無 等	30
			分析及びレポート機能： 児童生徒の成績や進捗状況の分析、教師向けにわかりやすいレポートを生成する機能 学校別、学年、クラス その他指標による分析、教育委員会機能 経年比較 等	60
			外部連携機能： 他の教育システム（学習e-ポータル、教育ダッシュボード）等とのデータ連携の可否、実績 等	40
		操作性	ユーザーインターフェース（UI）： マウス、USIペン、指による画面タッチ、キーボード入力等の操作性 初めて使用するユーザーでも直感的に操作できるデザインとなっているか	40
			ナビゲーション構造： 必要な情報や機能に簡単にアクセスできるナビゲーション構造になっているか 共通メニューやサブメニューの構成、パンくず機能、関連ページへのリンク 等	30
アクセシビリティへの配慮： ウェブアクセシビリティの「レベルAA」の配慮状況、その他工夫している機能 等	40			
サポート体制	研修	導入前研修や応用研修等の提供手段、マニュアルの充実度 等	50	
	運用支援	導入後の技術サポートやトラブルシューティングに適切に対応できるか コールセンターの充実度 等	50	
セキュリティ	不正アクセス対策	不正アクセスやランサムウェア等のマルウェアに対する防御に関する社内体制や技術（WAF、データの暗号化、不正通信の遮断、侵入された場合の検知、隔離 等）及び内部不正を防ぐための社内研修や検知技術等	50	
追加提案	追加提案の内容	追加提案（選択制）： 市にとって有益な提案があれば、その提案内容 等	50	